

「トルコ共和国におけるイマーム・ハティプ学校の歴史と現状」

目次

はじめに	1
第1章 イマーム・ハティプ学校の誕生から 1947 年まで	2
第1節 オスマン時代のマドラサ廃止からイマーム・ハティプ学校の開設まで	3
第2節 1924 年から 1947 年までのイマーム・ハティプ学校の変遷	5
第3節 1930 年のイマーム・ハティプ学校閉鎖	6
第2章 1948 年から 1997 年までのイマーム・ハティプ学校の変遷	7
第1節 1948 年から 1997 年までのイマーム・ハティプ学校	7
第2節 イマーム・ハティプ学校の教育システム	12
第3章 1997 年イマーム・ハティプ中学校閉鎖と今日のイマーム・ハティプ・リセ	18
第1節 1997 年のイマーム・ハティプ中学校閉鎖	18
第2節 現在のイマーム・ハティプ・リセ	21
おわりに	22
参考文献	24

はじめに

1997年8月トルコ共和国では新たな教育法が制定され、教育制度改革が行われた。義務教育年数が5年間から、小・中学校をあわせて8年間に延長されることとなった。義務教育の年数はもちろん国によって様々である。例えば、従来のトルコ共和国のように、セネガル・ネパール・バングラディッシュは5年、ドイツ・ギリシャ・フィンランド・日本は9年間、スペイン・フランスは10年間、イギリスは11年間である¹。義務教育が長ければ、それだけ国民が教育に触れる期間が長くなるということであるから、一見すると、今回のトルコ共和国の教育改革は、国民に喜んで受け入れられるべきものと思われる。しかし、この政策は国内で様々な議論を呼ぶこととなった。特に義務教育年数の延長による小・中一貫教育体制の導入によって、イマーム・ハティプ中学校というイスラームの導師(イマーム)・説教師(ハティプ)を養成する学校が廃止されることとなった。政府による今回の改革は、国民の教育水準引き上げを建前の目的としているが、本来の目的は、イスラーム勢力の抑圧にあるのではないかと議論されている²。

このように話題に取り上げられるイマーム・ハティプ学校とは一体どのような教育を行う学校であるのか、またどのような歴史をたどってきたのかということは日本ではあまり知られていない。本稿では、イマーム・ハティプ学校という、宗教教育を行い、イスラームの導師・説教師という人材を輩出することを目的としている学校を取り上げ、その変遷を明らかにしていきたい。その中では特に1930年と1997年に行われたイマーム・ハティプ学校の閉鎖・廃止という2つの出来事に注目し、それを検証する。この作業を通して、トルコ共和国の宗教教育について考えていくことが本稿の目的であ

¹ Beyza Bilgin.”Zorunlu Temel Eğitim ve İmam-Hatip Liseleri”,*Kuruluşunun 43.Yılında İmam-Hatip Liseleri*.Istanbul.1995. p.94.

² 村上薫,「トルコの教育制度改革：イスラーム勢力に対する危機感」『アジ研ワールドトレンド』29号, 1997年。

る。トルコ共和国のイマーム・ハティプ学校について知ることは、世俗主義を掲げるトルコ共和国で、世俗主義と宗教が教育という枠組みの中で、どのように相互に関連し、影響を与えているのかを考えていくための一助となると考えるからである。

論文の流れとして、まず第1章でイマーム・ハティプ学校の誕生から1947年までの変遷を明らかにし、1930年の閉鎖という出来事を考察する。第2章では、1948年から1997年の変遷と、イマーム・ハティプ学校の教育システムについて、そして第3章で1997年の中学校廃止と現在のイマーム・ハティプ・リセ(高等学校)を検証する。

先行研究では、世俗化政策とともにイマーム・ハティプ学校を論じるものは多いが、専論は数少ない。その中で、1910年代から1970年代のイマーム・ハティプ学校の変遷は Nahid Dinçer の著書を参考にした³。この著書は1913年から1970年代後半に至るイマーム・ハティプ学校の変遷がまとめられている。この著書の中には学校の変遷と共に、当時の回想記述も多くあるが、本稿を書くにあたっては前者の歴史記述部分のみを用いた。1990年代以降、イマーム・ハティプ学校の研究者が増加し、Beyza Bilgin、Cemil Çiçek、Halis Ayhan、Mustafa Uzunpostalıcı、Mustafa Öcal、Mümtazer Türköneらによって研究が行われている。その中で、Mustafa Öcal⁴、Mümtazer Türköne⁵の研究書を主に参考文献として用いた。

第1章 イマーム・ハティプ学校の誕生から1947年まで

³ Nahid Dinçer. *1913'ten Günümüze İmam-Hatip Okulları Meselesi*. İstanbul.1995.

⁴ Mustafa Öcal. "İmam-Hatip Lisesi Mezunlarının Yüksek Öğrenime Yönelişleri ve Üstlendikleri Görevler", *Kuruluşunun 43.Yılında İmam-Hatip Liseleri*. İstanbul.1995.

⁵ Mümtazer Türköne. "İmam-Hatip Lisesi", *Yüzyıl Biterken Cumhuriyet Dönemi Türkiye Ansiklopedisi*, Cilt12, sayfa 450-468.

第 1 節 オスマン時代のマドラサ廃止からイマーム・ハティプ学校の開設まで

イマーム・ハティプ学校はオスマン帝国末期のマドラサ改革の中で、マドラサ教育にかわって宗教専門職につく人材を養成する教育組織として生まれた。その誕生の経緯をみていこう。

マドラサとは、イスラーム諸学の教育と専門知識人（ウラマー）の養成を目的とする教育学校で、通常は講堂と学生のための寄宿舍を備えるものであった。コーラン学校でのコーランの暗唱、読み書きを学んだ学生に対し、第 2 段階としてマドラサで、アラビア語、コーランの学習が行われた。それを終えるとさらに段階に応じてコーランの解釈学、イスラーム神学、哲学、法学、数学、地理学の教育が行われていた。オスマン朝末期におけるイスタンブールのマドラサ制度においては、学校のような学年制や学級制がとられていたわけではないが、カリキュラム・テキストが画一化・固定化され、段階的なプログラムに沿って教育が行われていたという。マドラサの学生は、モスクで講義をする教師のうち一人に師事して学び始めると、一連のカリキュラムを学び終えるまで原則的には同一の師の下で学び、最後に免状が授与されるという教育制度がとられていた。⁶

1910 年代に入るとマドラサ改革の動きが本格化した。1911 年から 1920 年にかけて教育に関する事項を扱うワクフ関連施設局（Müesseat-ı İlmiye-i Vakfiye Müdürlüğü）が設立され、マドラサの再編成が始まった。1914 年 10 月マドラサ改革法令（Islah-ı Medaris Nizamnamesi）が承認され、イスタンブールのマドラサがダリュル・ヒラーフェト・マドラサ（Darül-Hilafetil-Aliyye Medresesi）のもとに統括された。この法令により、マドラサは現在の小・中学校、高等学校、大学にあたる初級、中級、上級の 3 コースに分けられ、初・中級コースではイスラームの知識、アラビア語を中心に 8

⁶ 秋葉淳，「オスマン朝末期イスタンブールのメドレセ教育」『史学雑誌』105 編 1 号，1996 年。pp.62-66。

年間学び、上級コースでは本格的にコーランの解釈、イスラーム法、神学、アラビア語などを4年間学ぶカリキュラムとなった。上級コース修了者はさらに2年の学習課程があり、コーラン・ハディース、法学、神学の3コースが設定された。一方、地方のマドラサは1914年から1915年に、「地方マドラサ」(Taşra Medresesi)の名で統括され、5年間の教育機関となった。

ところで導師(İmam)説教師(Hatip)を養成する学校はというと1913年ハティブ養成マドラサ(Medresetül-Eimme ve Huteba)が設立され、これが現在のイマーム・ハティブ学校の元となる学校であった。設立直後、説教師養成マドラサ(Vaizin Medresesi)という3年間のマドラサ学校を統合し、イルシャド・マドラサ(İrşad Medresesi)の名のもと開校された。ここでは3年の説教師コース、2年の導師・説教師コースの2つのカリキュラムがあり、それぞれのコースを終了した生徒は陸・海軍の導師や県・郡の中心となるモスクの説教師に任命されていた。⁷

1923年4月ムスタファ・ケマルはトルコ共和国の樹立に向けて「9原則」を発表した。この中の第5原則には「初等教育の画一化と学校の拡張」という教育指針が含まれていた⁸。1923年10月、大国民議会による議論の末、共和国宣言が可決され、ムスタファ・ケマルが大統領に選ばれ、トルコ共和国が誕生した。1924年3月1日、ケマルは大国民議会において教育改革の必要性和その緊急性を強調し、3月3日に法令第430号教育統一法を発表した。教育統一法の主な内容は以下である。⁹

- 1条 トルコ共和国において全ての学問・教育は国民教育省の管轄下におかれること
- 2条 個人のワクフによって管理されていたマドラサや学校は国民教育省によって管理されること
- 4条 イスラーム導師・説教師といった宗教職務を行う役人を養成するための学校を設立すること。そしてこれらは教

⁷ Dinçer, Op.cit., pp.39-43.

⁸ 新井政美, 『トルコ近現代史』みすず書房, 2001年。p.84.

⁹ Dinçer, Op.cit., pp.49-52.

育省によって管轄される。また宗教分野の人材を育てるべく、高等教育機関として大学に神学部を開設すること。

この法令によって事実上マドラサは廃止されることとなった。また第 1 条の教育が国民教育省の管轄下に置かれるということは、教育内容・教師が世俗化を目指す国家機関の統制下に入るということを意味していた。そして第 4 条に基づき、地方マドラサとそれまでイマームやハティプの教育を行っていたイルシャド・マドラサを統合する形で、1924 年にイマーム・ハティプ学校(İmam-Hatip Mektep)が開校された。教育制度全般に関しては、この法律により、初等教育 5 年間、中等教育 6 年間(中学校 3 年、高等学校 3 年)というトルコ共和国の教育システムの土台が定められた。

第 2 節 1924 年から 1947 年までのイマーム・ハティプ 学校の変遷

このように 1924 年教育統一法のもと、イマーム・ハティプ学校が誕生した。4 年間の教育を行う中等教育機関に位置付けられ、卒業者には高等学校進学権利が与えられた。教育統一法 1 条により、国民教育省の管轄下に置かれ、1924 年の誕生時には全国 29 校が開校された。以下はイマーム・ハティプ学校の開校地とその後の学校数の変化である。¹⁰

- ・ 1924 年 全 29 校
 - ・ 1924 年～25 年 開校 2、閉校 6、全 26 校
- 開校：アルトゥビン(Artvin)、イズミル(İzmir)
閉校：エディルネ(Edirne)、オデミッシュ(Ödemiş)、ホパ(Hopa)、シャヴシャト(Şavşat)、ニーデ(Niğde)

¹⁰ Dinçer ,Op.cit.,pp.57-94 の記述をもとに作成。当初の 29 校の全開校地は調べられなかった。

- ・ 1925 年～26 年 開校 2、閉校 8、全 20 校
開校：アクシェヒル(Akşehir)、オフ(Of)
閉校：エルズルム(Erzurum)、エスキシェヒル(Eskişehir)、ウルファ(Urfa)、アマシヤ(Amasya)、ガジアンテプ(Gaziantep)、マラシュ(Maraş)、アルトゥビン、イズミル
- ・ 1926 年～29 年 全 2 校
キュタヒヤ(Kütahya)、イスタンブルのみ
- ・ 1929 年～30 年 全校閉校

1924 年の誕生時に 29 校あったイマーム・ハティプ学校数は徐々に減少し、1929 年にはキュタヒヤ、イスタンブルの 2 校のみになり、1930 年には全くなり、7 年でイマーム・ハティプ学校は閉校された。

第 3 節 1930 年のイマーム・ハティプ学校閉鎖

このようにイマーム・ハティプ学校は 1924 年に設立されたものの、早くも 1930 年には閉鎖された。何故わずか 7 年間で廃止されたのだろうか。

このイマーム・ハティプ学校閉校には国家の世俗化政策が大きく影響しているといえる。1923 年にトルコ共和国が成立し、ムスタファ・ケマルが大統領となった。ケマルの政策の中心は西欧化・世俗化政策であった。彼はイスラームを後進的、非文明的なものと捉え、脱イスラーム化政策を国政の中心にすえた。西欧の文化を取り入れることによって国家の発展を目指し、1924 年にカリフ制を廃止、さらにシャリーア法廷も廃止した。そして同年宗務庁が設立され、全国モスクにおけるイマーム、ハティプら宗教職につく人々の人事、モスクでの説法内容の統制、コーラン教室の管理などが、国家機関である宗務庁の管轄下におかれることとなった。1925 年には神秘主義教団の修行場、聖者廟が閉鎖され、ターバン、トルコ帽の着用が

禁止された。¹¹

1926年には西欧を範とする民法・刑法・商法が制定され、西欧的な法体系の枠組みが取り入れられた。そして1928年、憲法の中にあるイスラーム国教条項が削除された。

こうした世俗化政策は、イマーム・ハティプ学校の閉鎖に大きく影響している。イマーム・ハティプ学校が1930年に閉鎖されたことの直接の原因は生徒数の減少であった。では何故生徒数が減少してしまったのだろうか。その原因は何よりイスラーム専門家の需要が減ったからであるといえる。ケマルの世俗化政策により、司法制度から教育に至るまで脱イスラームが進められた結果、イスラーム知識が必要とされる宗教関係職務は激減した。さらにワクフ宗務局によって全国のモスクの数が調査され、500メートル以内に複数のモスクがある場合にそれを閉鎖し、1つにまとめるという政策が行われた。¹²

人々の信仰の場であるモスクを必要最低限に抑える政策が行われ、これによってモスクで働くイマームやハティプの需要は一気に減少した。導師・説教師を養成する学校であるイマーム・ハティプ学校の必要性も徐々に減少し、閉鎖においこまれた。そして1930年のイマーム・ハティプ学校閉鎖後、1948年まで宗教関係の職業につく人材を育てるような学校機関は全くない状態が続くのである。

第2章 1948年から1997年までのイマーム・ハティプ学校の変遷

第1節 1948年から1997年までのイマーム・ハティプ学校

¹¹ 新井前掲書，pp.181-189、pp.214-215。澤江史子，「世俗主義体制の中の『イスラーム政党』：トルコの事例」『アジア・アフリカ地域研究』第1号，2001年。p.255

¹² 澤江前掲論文，p.255.

1930 年イマーム・ハティプ学校が閉鎖され、1948 年まではイスラーム宗教専門職につく人を養成するような教育機関は全くなかったが、1948 年に 10 県で国民教育省初等教育総局付属としてイマーム・ハティプ教室が開かれることが決定され、1949 年にイマーム・ハティプ教室が新たに開校された。これは 1950 年選挙に向けて、共和人民党(Cumhuriyet Halk Partisi)と民主党(Demokratik Parti)の政策の一環として、イマーム・ハティプ学校やイスラームに対する緩和政策が打ち出されたのであった。前述のように、共和人民党の単独政策は世俗主義・西欧化をめざし、世俗化政策を急速に行っていた。しかし急激な世俗化政策に人々の不満は徐々につのっていた。1945 年に複数政党制の導入が決定されると、人々の不満が政党にくみとられ、それまでの世俗化政策に一定の修正が加えられることとなる。こうして 1950 年選挙に向けて共和人民党が行った政策が、1948 年のイマーム・ハティプ教室(İmam-Hatip Kursu)開設であった。この教室は 5 ヶ月間の授業が行われた後試験をし、これに合格すると証書が与えられ、次の段階として導師コース、説教師コースへと進む仕組みであった。このようにイマーム・ハティプ教室は、学校というよりはあくまで補助的な学習機関であった¹³。しかし 1950 年選挙では、共和人民党から分派し、これまでの世俗化政策に批判的態度を示してきた民主党が勝利し、民主党の単独政権となった。政権をとった民主党は、1951 年イマーム・ハティプ学校を開設し、イスラームに対する規制を緩和した。¹⁴

このように、1951 年のイマーム・ハティプ学校開校は、1950 年選挙に向けた共和人民党、民主党の行った、国民の支持獲得政策のひとつであった。言い換えると、人々のイスラームを抑制した世俗化政策に対する不満への対策として、政党がイマーム・ハティプ学

¹³ 例えば、イスタンブールのコジャ・ムスタファ地区エトイエメズ(Etyemez Sırtı)のイマーム・ハティプ教室の生徒数は 27 人、授業時間は 1 日 4 時間であり、科目はイスラーム道徳・倫理、コーランと礼拝、歴史、地理、トルコ語、保健・体育などがあった。Dinçer.Op.cit.,pp.89-90.

¹⁴ 澤江前掲論文, pp.253-259.

校を政策に取り込み、民衆の支持獲得を目指したのである。

そのような中、1951 年 10 月 13 日法令 601 号の決定により、イマーム・ハティプ学校が İmam-Hatip Mektebi から İmam-Hatip Okulları へと名前を変えて再開されることが決定された。このイマーム・ハティプ学校は第 1 期間として中等部 4 年間、第 2 期間として高等部 3 年の 7 年間の教育機関であり、中等教育機関として位置付けられた。1961 年には全 19 校、1962 年には全 26 校、1969 年には全 71 校と、その数は確実に増加していった。以下は 1951 年から 1969 年までのイマーム・ハティプ学校の開校数、主な学校所在地を示したものである。¹⁵

1951 年	アダナ、アンカラ、ウスパルタ、イスタンブル、カイセリ、コンヤ、マラシュ
1953 年	アンタルヤ、エルズルム、イズミル、トカット、トラブゾン、チョルム、エラズウ、ヨズガット
1956 年	アダパザル
1958 年	バルケシル、ブルドゥル
1962 年	ドゥズジェ、ガジアンテプ、マルディン、サムスン、シヴァス、ウルファ、ブルサ（全 26 校）
1966 年	デニズリ、エスキシェヒル、カスタモヌ、マラティヤ、メルジィホン、ニーデ、オルドゥ、オスマーニエ、マニサ、ウシャック、ギュムシュハーネ
1967 年	アイドゥン、ビットゥリス、エディルネ、ギレスン、ハタイ、イズミット、クルシェヒル、メルシィン、テキルダー、エルジィンジャン、リゼ、ビガ、ボルヴァディン、デミルジ、デヴェリ、ゲレデ、カラマン、ドアンヒサル、
1968 年	アドゥヤマン、アマスィヤ、ビレジック、ボヤバット、チャンクル、カルス、ムシュ、ネヴシェヒル、シールト、ゾングルダック
1969 年	クルクラレリ、ムーラ（全 71 校）

¹⁵ Dinçer, Op.cit., pp.97-102 の記述をもとにまとめたもの

1958 年までに特別教育局(Özel Okulları Müdürlüğü)が特別教育総局(Özel Öğretim Kurumları Genel Müdürlüğü)に統一され、イマーム・ハティプ学校はこの管轄下に置かれることとなった。1961 年には高等イスラーム研究所が設立された。高等イスラーム研究所は、当時大学進学権利が認められていなかったイマーム・ハティプ学校の卒業生がさらに教育を受けることができる場として主要な都市(コンヤ、カイセリ、イズミル、ブルサ)に開校された。また同年には宗教教育局が設立され、イマーム・ハティプ学校はこの管轄下に置かれることとなった。以上のようにイマーム・ハティプ学校は 1930 年の閉校後、1951 年に再開し、学校数も増加していった。

16

しかし再びイマーム・ハティプ学校の制度改革が、1971 年 8 月に行われた。国民教育省、国民教育委員会(Milli Talim ve Terbiye Kurulu)の決定により、イマーム・ハティプ学校の教育期間が 7 年間から 4 年間へと短縮されることになったのである。つまりイマーム・ハティプ学校中等部が廃止され、高等部 4 年間のみへと改編された。この国民教育委員会の決定は 1971 年に行われた政府計画の国民教育改革の分野に基づくものであった。この国民教育改革計画の大まかな内容は以下である。¹⁷

- ・ 1924 年 3 月 3 日付教育統一法第 4 項の趣旨である、導師・説教師を養成するというイマーム・ハティプ学校の教育目的はそのまま引き継ぐこと。
- ・ 学校教育の中で、ある程度の一般常識・文化といった教育も行いながら、4 年間で導師・説教師という職業分野の教育も行うこと。
- ・ 卒業者には修了書が与えられ、それをもってモスクなどの施設で職務につく資格が与えられる。
- ・ イマーム・ハティプ学校終了後、高等イスラーム研究所以外の高等教育機関へ進学を希望する生徒は、イマーム・ハティプ学校で開かれることとなる大学準備プログラムを受講し、大学進学権利を得ることができる。

¹⁶ Dinçer, Op.cit., p.98

¹⁷ Dinçer, Op.cit., pp.129-140

このイマーム・ハティプ学校に関する国民教育改革計画は、1973年に施行されることとなる教育法の準備段階として決定されたものであった。1973年6月法令1939号国民教育基本法が決定され、この法律において、初等教育は5年間の義務教育、中等教育6年、高等教育4年間という現在の教育制度の土台となる教育制度が定められた。初等教育は6歳から11歳の5年間にわたる無償義務教育、中等教育は11歳から17歳の6年間と定められた。さらに27条において、中等教育機関は初等教育を終えた後の、少なくとも3年の普通、職業、技術教育を行うものであると定められた。普通高等学校では普通教育が行われ、職業・技術高等学校では、様々な分野の教育が行われることになったが、職業・技術高校でも職業や技術のみを学ぶのではなく、ともに一般教育も同様に行うこととされた。例えば、芸術、科学技術、商業、ホテル・観光、秘書、宗教、農業、気象、水産、音楽といったさまざまな職業・技術高等学校が作られた。

イマーム・ハティプ学校については、国民教育基本法32条で職業・技術専門高等学校と定められ、高校部門についてはイマーム・ハティプ学校(İmam-Hatip Okulları)からイマーム・ハティプ・リセ(İmam-Hatip Lisesi)へと名を改めること、宗教職務につく人材を養成する教育機関であること、国民教育省管轄のもと、中等教育制度における職業・技術専門学校として教育内容が定められること、さらに高等教育機関への準備課程の教育も行うことが定められた。そして31条では、「中等教育機関において高等教育機関への準備課程を修了すれば高等教育機関への進学権利が与えられる」と定められ、職業・技術専門高等学校からでも、大学進学準備課程を通して、大学入学資格が認められることとなった¹⁸。従って、イマーム・ハティプ・リセ卒業者も、この準備課程を終了すれば大学進学権利を得ることができるようになった。

1975年9月には、1971年にいったん閉校されたイマーム・ハティプ学校中等部が再開された。これは、中等部廃止に対して人々の反発が強く、イマーム・ハティプ・リセと共に中学校も再開することを求める国民の要請が強く影響したという背景がある。この結果

¹⁸ Öcal, Op.cit., p.38.

イマーム・ハティプ中学校は、イマーム・ハティプ・リセの付属学校として開校され、授業内容はコーラン・アラビア語の科目があること以外は普通中学校と同じであった。中学校を卒業するとイマーム・ハティプ・リセへも普通高等学校へも進学権利が与えられることになった。1973年から1978年までの5年間で、イマーム・ハティプ中学校は58校から335校へ、リセは71校から173校へと拡大していった。1985年から1986年には英語などの外国語で教育を行うアナドル・リセの一部として、アナドル・イマーム・ハティプ・リセも開校された。このイマーム・ハティプ・リセにおける教育システムは1997年まで続いたが、1997年8月に採択された新しい教育法による改革によって改められ、中学校が廃止されることとなる。

19

第2節 イマーム・ハティプ学校の教育システム

ところで、こうしたイマーム・ハティプ学校ではどのような教育が行われているのだろうか。第2節では、高校部(リセ)をとりあげて、イマーム・ハティプ学校の教育内容や卒業後の進路をみていこう。第1にどのような科目が教育課程の中で行われているかについて、第2に宗教に関する授業がどれくらい行われているかについて、第3に1980年代以降の学校数の変化について、第4にイマーム・ハティプ・リセ卒業後の学生の進路についてとりあげて考えていく。

(1) イマーム・ハティプ・リセの授業科目

イマーム・ハティプ・リセではどのような授業が行われているのだろうか、またそれが普通高等学校とどのように違うのだろうか。

(表1、表2参照)²⁰

¹⁹ Bilgin, Op.cit., pp.93-98.

²⁰ Türköne, Op.cit., p.468 と Rıfat Okçabol. "Türkiye'de Eğitim" *Yüzyıl Biterken Cumhuriyet Dönemi Türkiye Ansiklopedesi*, cilt12, İstanbul, 1995. p.457 の資料をもとに表を作成。

図 1 イマーム・ハティプ・リセで
1 週間に行われる科目数

	学年		
(一般科目)	1	2	3
トルコ語	6	6	6
数学	4	4	4
科学	4	4	4
歴史	2	2	—
地理	2	2	—
共和国史、 アタトゥルク	—	—	2
外国語	3	3	3
道徳	2	2	2
美術	1	2	1
音楽	1	1	1
保健・体育	2	2	2
その他	—	—	3
	28	28	28

	学年		
(専門科目)	1	2	3
コーラン	5	5	5
アラビア語	3	3	3
合計	8	8	8
全科目合計	36	36	36

図 2 普通高校での一学年の授業科目と卒業に必要な単位数

(一般教養科目)	時間 / 週	単位	(選択科目)
国語	4	14	国語、数学、体育、社会学 芸術、文化、宗教、外国 語から選択。卒業に必要な 単位数は 70 単位。
数学	2	10	
科学	2	10	
歴史	2	8	
地理	2	4	
哲学	2	4	
共和国史、 アタトゥルク	2	4	
外国語	2	8	
道徳	3	6	
国家安全	1	2	
体育	2	4	
合計	24	74	

この資料は図 1 が 1 週間に行われる授業時間を示しているのに対して、図 2 は単位数を示しているので、イマーム・ハティプ・リセと普通高等学校の授業時間の量を比較することは難しいが、授業科目の比較を図 1、2 から行うことができる。イマーム・ハティプ・リセでは行われていて普通高等学校では行われていない必修授業科目は、美術、音楽(普通高校では選択科目として履修可能)と専門科目であるコーラン、アラビア語である。一方普通高等学校で行われていてイマーム・ハティプ・リセで行われていない授業科目は、哲学、国家安全に関する授業の 2 つだけである。ただし、普通高等学校では必修科目とともに選択授業科目が設けられており、生徒が学びたい分野を学ぶことができる。宗教学校というと、宗教に関する授業科目を中心に教育が行われているのではないかと捉えられがちであるが、図 1、2 の比較により、イマーム・ハティプ・リセにおいても一般教養科目が普通高等学校の必修科目とほとんど同様に行われていること、また、宗教科目は週 36 時間の授業のうちその 4 分の 1 にも満たない 8 時間程度であることがわかる。

（２）宗教授業科目の内容

次にイマーム・ハティプ・リセで、宗教授業科目がどのくらい行われているのかについて見ていきたい。図 1 をみると、専門科目である宗教教育科目はコーランとアラビア語の 2 つのみである。これは、「イスラーム宗教学校」と呼ぶにはあまり科目数が充実していない。この点について、イマーム・ハティプ・リセの前身である 1924 年の学校創設当時と、1951 年に再開された当時の宗教授業科目、図 1 からわかる 1973 年国民教育基本法制定時の宗教授業科目とを比較してみたい。まず 1924 年の学校創設時では、コーラン、アラビア語、イスラーム道徳、宗教文化、コーラン解釈、ハディース、イスラーム法、イスラーム神学、トルコ・イスラーム美術があり、1951 年の再開当時は、コーラン、アラビア語、宗教道徳、宗教文化、イスラーム法、イスラーム解釈、ハディース、神学といったようにイスラームに関する授業科目が多く行われていた。²¹

宗教授業科目数を比較すると、1973 年以降はコーラン、アラビア語の 2 科目へと減少していることがわかる。これは 1973 年にイマーム・ハティプ学校が職業・技術専門学校として編成されたことにより、教育プログラムが変更されたことによる。

（３）イマーム・ハティプ・リセの生徒数の変化

次に、イマーム・ハティプ学校の広がりについて、高校部をとりあげ、1980 年から 1995 年までのイマーム・ハティプ・リセの生徒数の変化を見ていこう²²。

1981-1981 年	62206 人
1981-1982 年	69723 人
1982-1983 年	72793 人
1983-1984 年	76193 人
1984-1985 年	83157 人
1985-1986 年	87560 人
1986-1987 年	89666 人

²¹ Dinçer, Op.cit., pp.219,222.

²² Türköne, Op.cit., p.467.

1987-1988 年	87972 人
1988-1989 年	87079 人
1989-1990 年	92585 人
1990-1991 年	100687 人
1991-1992 年	119285 人
1992-1993 年	142362 人
1993-1994 年	162828 人
1994-1995 年	166831 人

1980 年から 1995 年にかけて生徒数は約 2.7 倍、そしてトルコ国内の職業・技術高等学校全生徒数に占めるイマーム・ハティプ・リセの生徒数の割合は 20% にのぼり、どんどん拡大していった。このような学校数の増加の一方で宗教関係の職業数は一定数であり、イマーム・ハティプ・リセ卒業者の人数と宗教関係職の数は見合っていない。リセ卒業者の進路については以下で検討する。

(4) イマーム・ハティプ・リセ卒業者の進路

最後にイマーム・ハティプ・リセ卒業生が社会でどのような仕事に就き、社会の中でどのような役割を果たしているのかについてみていきたいと思う。

イマーム・ハティプ・リセを卒業した者は、主に大学に進学するか、高等イスラーム学院 (Yüksek İslam Enstitüsü) に進むか、さらに就職するかという進路に進む。第 1 に、卒業後すぐに就職する場合の就職先として代表的なものは、イマーム、ハティプ、村の宗教行事を司る仕事(ミュフティー)などの宗教にたずさわる役職が中心である。このような宗教職務を行う人々は宗務庁 (Diyanet İşleri Başkanlığı) のもとで働いている。宗務庁でどのくらいのイマーム・ハティプ・リセ卒業生が働いているかということ、1993 年の統計によれば、職員 88533 人のうち 68.42% を占めている。さらにイマーム・ハティプ・リセを卒業し、大学進学後に就職した人々を含めるとその割合は 76.8% にのぼる。国家の公的機関である宗務庁で働くおよそ 80% がイマーム・ハティプ・リセで教育を受けた人々である。²³

第 2 に高等学校卒業後の進路として、大学へ進んだ生徒はどのよ

²³ Öcal, Op.cit., pp.62.

うなところに就職するのかについて見ていこう。

就職先に触れる前に、イマーム・ハティプ・リセ卒業者がどのような学部に入學しているかということから検討する必要がある。というのは、以前イマーム・ハティプ・リセ卒業者は高等イスラーム研究所（1959年に設立された）と神学部には進学できなかったため、大学卒業後の進路は宗教関係の職務が中心であったが、1982年以降、イマーム・ハティプ・リセ卒業者が法学部、政治学部、経済学部などへ進学することも可能になり、就職先が宗教職務以外にも多岐にわたるようになったからである。1982年改憲の後、教育基本法も改正され、31条により、職業・技術高等学校卒業生、つまりイマーム・ハティプ・リセ卒業生であっても YÖK（高等教育協会）によって行われる2度の一斉テスト（ÖSS、ÖYS）をうけ、その成績によって希望する学部へ入學することができるようになった。これによって例えば、1988年のイマーム・ハティプ・リセ最終学年生徒の進路希望では、神学部 2496 人、法学部、政治学部、経済学部といった神学部以外の進路希望者は 4754 人と、神学部希望者の人数がそれ以外の希望者の人数を下回った。そして実際、イマーム・ハティプ・リセ大学進学コースの生徒のうち、神学部合格者は全体の 10 分の 1 という人数であり、徐々に神学部以外の学部進学者が増加している。神学部希望者の人数が減少した理由として、神学部の定員が他学部に比べて少ないことが挙げられる。1988年の資料によると、アンカラ市にあるアンカラ大学では法学部定員 800 人に対して神学部定員は 158 人、イスタンブール市にあるイスタンブール大学・マルマラ大学の法学部定員をあわせて 1083 人に対して神学部定員は 202 人であり、神学部定員が少数であることがわかる。²⁴

神学部定員が少ないのは、神学部卒業後の宗教関係の仕事もまた少ないことが影響しているようである。イマーム・ハティプ・リセを卒業し、もし全員が宗教関係の職業につくとなると、莫大な人数の宗教関係職が必要となるのは当然である。しかしながら宗教職務の数は限られており、現実には卒業生の数と宗教職務の数は見合ったものとはいえない。従って、イマーム・ハティプ・リセ卒業後大学進学を希望する生徒は神学部以外の進路をとることとなり、そして

²⁴ Öcal, Op.cit., pp.40-43.

一般企業へ就職するという傾向が最近強まっている。

では、以上で見てきたイマーム・ハティブ・リセ卒業者の神学部以外の大学進学をふまえ、神学部進学者の大学卒業後の進路を見ていきたいと思う。神学部卒業生の主な就職先としてはまず宗務庁があげられる。宗務庁の 1993 年の調査によれば、宗務庁に勤める神学部出身者 3290 人の宗務庁内での配属先として一番多いのがイマーム、ハティブ、ミュフティーであり、いずれも 500 人を超えている。続いて多いのは行政管理職(190 人)、コーラン教室の教師(330 人)、モスクの管理・エザーンを告げるミュエジン職(115 人)、さらに会計、教育部門、教師部門、宗教サービス部門、社会サービス部門といった職務がある。神学部卒業生の就職先として宗務庁について重要なのは国民教育省である。国民教育省で雇用される神学部出身者は全て教師として雇用される。具体的にはイマーム・ハティブ・リセの教師、初・中等教育での宗教文化・道徳科目の教師、神学部の教官として国民教育省で雇用される。すなわち、イマーム・ハティブ・リセを卒業し、神学部を卒業した学生の大半が宗教関係の公務員として働いていることがわかる。以上、宗務庁、国民教育省の 2 つが主な就職先であるが、その他卒業後に高等イスラーム研究所で研究する生徒もいる。²⁵

第 3 章 1997 年イマーム・ハティブ中学校閉鎖と今日の イマーム・ハティブ・リセ

第 1 節 1997 年のイマーム・ハティブ中学校閉鎖

1997 年 8 月、義務教育年数が従来の 5 年間から 8 年間へ延長された。この義務教育年数延長の目的は、国民が教育にふれる期間をより多くするというものであるが、もうひとつ裏に隠された目的が存在するということが指摘されている。それはイスラーム教育に基

²⁵ Öcal, Op.cit., pp.63-65.

づいて人材を輩出しているイマーム・ハティプ中学校、リセという教育システムに打撃を与え、イスラーム勢力をおさえこむという目的である²⁶。第2章で述べた1980年代以降のイマーム・ハティプ・リセの増加がイスラームの「脅威」と考えられたのである。では、そもそも何故急激に拡大することができたのだろうか。その背景には福祉党の勢力拡大が関係している。

福祉党とは1991年から1998年に活動していた政党であり、その始まりは1969年にさかのぼる。1969年の総選挙で、トルコ商工会議所連合会長であるネジュメッティン・エルバカン（Necmettin Erbakan）は、無所属で出馬し、当選した。翌1970年エルバカンは国民秩序党（Milli Nizam Partisi）を結成し、イスラーム主義を掲げて政治活動を行っていった。しかし1971年5月トルコ共和国憲法裁判所は、世俗主義に違反するとして国民秩序党を閉鎖した。国民秩序党が閉鎖された一方で、エルバカン自身に対する拘束は行われなかったため、彼は1972年10月国民救済党（Milli Selamet Partisi）を設立した。これらエルバカンが組織した一連の政党は世俗主義政策に批判的な人々、社会経済的上昇とイスラーム復興を望む人々らによって支持されたといわれ、1973年から1980年にはトルコ大国民議会で議席を有していた。そして、1974年から1978年連立政権に参加したが、1980年9月12日軍事クーデターが起こった。イスラーム主義を掲げ、世俗主義に反する行動をとっていたことを原因に、エルバカンは逮捕、10月には国民救済党は解散となった。ところが、それから約10年後の1991年から1998年には国民救済党の後継である福祉党がトルコ大国民議会で躍進し、1996年から1997年には、エルバカンを党首とする福祉党と、正道党の連立内閣が組織されることとなった。しかしイスラーム主義を基調とした政党の流れをくむ、そしてエルバカン率いる福祉党に対して軍部は強い危惧を抱いており、その結果、1997年5月、共和国最高検事は福祉党が世俗主義に反しているという理由からその解散を求める裁判を憲法裁判所に求めた。エルバカンは6月に辞表を提出し、その時点で連立政権は崩壊した。その後は共和人民党、祖国党、民主党の中道政党による連立政権が組織され、1997年8月に法令4306

²⁶ 村上前掲論文 p.28.

号によって義務教育が 8 年に延長される決定が下された。一方エルバカン関係の裁判はというと、1998 年に福祉党違憲判決が下され、福祉党は解散、エルバカンをふくめ 8 人に 5 年間の政治活動禁止の命令が下された。しかしその後も、福祉党は美德党 (Fazilet Partisi) に名を変えて活動を続けていった²⁷。1997 年の義務教育年数延長は、こうした福祉党の解党命令と同じ流れの中に位置付けることができる。

福祉党の勢力拡大と第 2 章で述べたイマーム・ハティプ学校の拡大の時期はかさなっている。イマーム・ハティプ・リセの所在地と福祉党の支持基盤である中小商工業者の多い地域が一致していると指摘する研究者もあり²⁸、また、エルバカンの選挙出身地であるコンヤでは、時代は異なるものの 1995 年から 1996 年に 1 校、1997 年から 1998 年には 3 校のアナドル・イマーム・ハティプ・リセが開校された。以上の連関からもわかるように、リセの拡大には福祉党による支援が影響していると考えられる。またある雑誌の資料によると、第 20 期トルコ大国民議会 (1995 - 1999) の議員 550 人のうち 61 人がイマーム・ハティプ・リセの卒業生であり、そのうち 46 人が福祉党所属であるという²⁹。イマーム・ハティプ・リセを卒業し、政治家となった者のうち 9 割が福祉党に所属していることからその連関をみることもできる。

国民救済党、福祉党の人気の高まるにつれ、世俗主義の徹底をめざす軍部はそれに危惧を抱き、国民救済党に関しては 1980 年に軍事クーデターの際これを解散させた。福祉党に関しては、軍部は憲法裁判所に圧力をかけ、これを解散させた。そして、国民救済党とその後身の福祉党が拡大の援助を行っているといわれているイマーム・ハティプ・リセに対しては、1997 年 8 月の中学校廃止という政策を行った。もちろん、この中学校廃止は国民議会によって採択され、決定されたものであるが、この背景にはイスラーム主義の拡大に懸念を示す軍部が、政府に義務教育年数の延長を強く迫ったこと

²⁷ 新井前掲書 , pp.268-287,292-296.

²⁸ 澤江前掲論文 , p.263.

²⁹ 澤江前掲論文 , p.252.

があると考えられている³⁰。以上のように、イマーム・ハティプ学校の存在は、政治と密接に結びついていることがわかる。

第2節 現在のイマーム・ハティプ・リセ

1997年の小中校一貫義務教育体制のもと、イマーム・ハティプ・リセが現在どのように運営されているかについてみていこう。³¹

イマーム・ハティプ・リセは国民教育省宗教教育総局（Milli Eğitim Bakanlığı Din Öğretimi Genel Müdürlüğü）の管轄下で運営されている。1999-2000教育年におけるイマーム・ハティプ・リセの学校数は464校、生徒数116431人、アナドル・イマーム・ハティプ・リセの学校数は107校、生徒数は11504人である³²。

1999-2000年の国民教育省の教育計画において、「イマーム・ハティプ・リセ改善計画」が打ち出された。この計画の目標は「憲法の前文で述べられている基本原理に基づく民主主義、政教分離のもと、トルコ共和国に対する任務と責任を理解し、そしてこれに基づいて行動する国民を育成すること」である。つまり、イマーム・ハティプ・リセの教育がアタトゥルクの目指した方針にそって行われることを目標としている。以下、具体的に計画の内容をみていこう。

まず、モスクで働くための実践的な教育を行うことを目的として、「実践訓練用メスジド（Meslek Uygulama Mescidleri）」が設置されることとなる。これは少なくとも20平方メートル以上の広さを持ち、中には絨毯が敷かれ、説教壇、フトバの演壇、マイクロフォンが設置される。

さらに、コンピューターが導入され、伝統的な宗教授業教育と共に化学、生物学のような理科系の授業が行われることとなる。また、

³⁰ 村上前掲論文，pp.28.

³¹ 以下の「イマーム・ハティプ・リセ改善計画」については
<http://www.altas.50megs.com/ihl.htm#bas>

³²<http://www.meb.gov.tr/stats/ist9900/ist10.html>
国民教育省のホームページより

従来から行われていた音楽・美術授業が強化されることとなった。そして課外授業の一貫として、工場の見学や歴史・博物館の見学といった社会科見学が予定されている。これにともなって、学校施設も再編成されることとなり、生物、物理、化学教室、パソコン室、言語学習室³³、美術室、音楽室、展示室が設置される。また、より生徒同士のコミュニケーションを深め、また討論を行うための場として、U字型に机を並べたセミナー・プロジェクト・ルーム、グループ談話室が新設される。これらの新しく作られることとなる教室については、その大きさや机・黒板の大きさ、学校の何処に設置されるかなどが細かく改善プログラムの中で決定されている。改善計画ではイマーム・ハティプ学校の生徒が社会性を身につけることを目的とし、コンピューターの導入や宗教授業以外の科目の充実、社会科見学の実施、討論や生徒間のコミュニケーションを重視した教育プログラムが計画されている。

この新教育体制を導入するにあたり、新体制の内容がよく理解され、より実効的に行われることを目的として、まずコンヤの9都市で現在実施されている。さらにこの体制は、チョルム(Çorum)、アダナ(Adana)、シィヴァス(Sivas)、イスタンブル(İstanbul)、シャンルウルファ(Şanlıurfa)、ヴァン(Van)、エルズルム(Erzurum)で導入すべく、実施に向けて国民教育省によって現在準備がすすめられている。³⁴

このように、国民教育省によって進められているイマーム・ハティプ・リセの改革は、宗教職業学校として職業訓練に力を入れると共に、社会性のある人材の育成を目指している。

おわりに

今まで、イマーム・ハティプ学校、そしてリセの1924年から1997

³³ 生徒がラジオ・テープ・ビデオ・スライドを使用してトルコ語、外国語を学ぶ為の教室。

³⁴ www.meb.gov.tr/Stats/apk2002/504.html トルコ国民教育省のホームページより

年の変遷をまとめ、その中で 1930 年のイマーム・ハティプ学校閉鎖、1997 年の中学校廃止という出来事に注目して、トルコ共和国の教育制度における宗教教育をめぐる問題を見てきた。この二つの出来事には共通点をみることができる。まず、1930 年の学校閉鎖では、世俗化政策によってモスクが減少し、イマーム・ハティプの職に対する需要が減少したことが原因である。しかし、国民のレベルにおいてはその需要は減少していなかったと考えられる。なぜなら、国民の間にイマーム・ハティプの需要がなければ、政府はイマーム・ハティプ・コースや学校の開校という政策を実施しなかったはずだからである。民衆の間の世俗化政策に対する不満にうったえ、票を得るために各政党が行ったイスラームに対する緩和政策ともいえるべき政治政策の一つが、イマーム・ハティプ・コース、学校の開校であった。次に、1997 年の義務教育 8 年化による中学校の閉鎖では、第 3 章第 1 節で述べたように、政界におけるイスラーム勢力を押さえ込むという側面をみることができる。

1930 年、1997 年の出来事に共通しているのは、イマーム・ハティプ学校が純粋に教育制度の一つとしてではなく、イスラームに対する政治政策の一貫として議論されてきたということである。従って、国家の政治政策が変更するたびにイマーム・ハティプ学校もまた開校、閉鎖という歴史を繰り返してきた。

この点、1997 年の改革以降、「イマーム・ハティプ・リセ改善計画」が作られたことが注目される。この改善計画では、職業能力強化のために「実践訓練用メスジド」を建設し、また社会活動を重視することをうたっている。1997 年以前のイマーム・ハティプ学校の位置付けは、宗教専門職業につく人材を育成することであったが、この計画ではさらに、アタトゥルクの思想にそったイマームやハティプの人材を育成することが目的とされている。1997 年の改革を機に、イマーム・ハティプ・リセの教育が世俗化政策と調和するよう、国民教育省が取り組んでいると評価できよう。一部のモデル校に導入されたばかりなので、現在この計画の実効性を評価するのは難しいが、今後イマーム・ハティプ・リセがどのように世俗化政策のもと教育を行っていくのかが注目される。さらに政治との関連ではなく教育機関として純粋に議論されることが望まれる。

<参考文献>

秋葉淳 「オスマン朝末期イスタンブルのメドレセ教育」『史学雑誌』105 編 1 号, 1996 年。

新井政美 『トルコ近現代史』 みすず書房, 2001 年。

澤江史子 「世俗主義体制のイスラーム政党 - トルコの事例 - 」
『アジア・アフリカ地域研究』第 1 号, 2001 年。

村上薫 「トルコの教育制度改革 - イスラム勢力に対する危機感 - 」
『アジ研ワールドトレンド』NO.29, 1997 年。

Beyza Bilgin.”Zorunlu Temel Eğitim ve İmam-Hatip Lisesi”,
Kuruluşunun 43.Yılında İmam-Hatip Liseleri,İstanbul.1995.

Mustafa Öcal.”İmam-Hatip Lisesi Mezunlarının Yüksek Öğrenime Yönelişleri ve Üstlendikleri Görevler”, *Kuruluşunun 43.Yılında İmam-Hatip Liseleri*,İstanbul.1995.

Mümtazer Türköne. “ İmam-Hatip Lisesi ” ,*Yüzyıl Biterken Cumhuriyet Dönemi Türkiye Ansiklopedesi*, Cilt12.
İstanbul.1995.

Nahid Dinçer.*1913'ten Günümüze İmam-Hatip Okulları Meselesi*.İstanbul.1998.

RıfatOkçabol.”Türkiye’de Eğitim”,*Yüzyıl Biterken Cumhuriyet Dönemi Türkiye Ansiklopedesi*,cilt12.İstanbul.1995.

トルコ国民教育省ホームページ

<http://www.meb.gov.tr/Stats/apk2002/504.html>

<http://www.meb.gov.tr/stats/ist9900/ist10.html>

「イマーム・ハティブ・リセ改善計画」について
<http://www.altas.50megs.com/ihl.htm#bas>
